

1 研修のテーマ

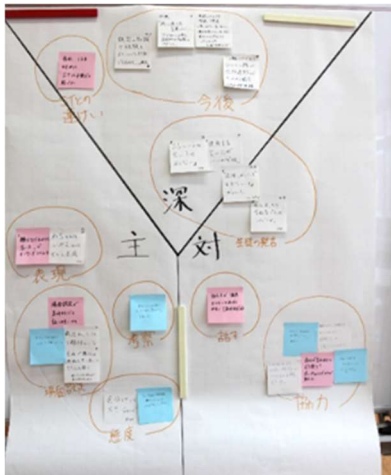
「日常の学習指導における主体的、対話的、深い学びの3つの視点」

2 研修の方法

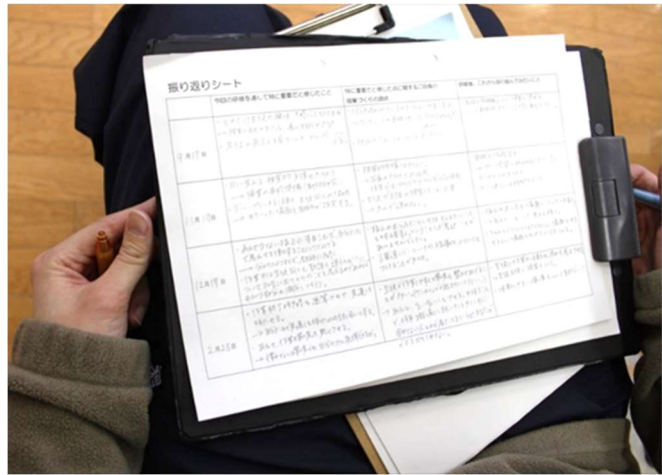
- (1) 授業参観を行い、生徒の学び（主体的な学び・対話的な学び・深い学び）を付箋に記録する。
- (2) 学年研修日に、Yチャートを用いて協議を行う。
- (3) 以上のようにして、主体的・対話的で深い学びの視点を養い、授業改善につなげる。

3 研修の様子

- ・作業学習、国語、数学、保健体育など、MTを担当している授業で、MTのタイミングに合わせて授業参観を行った。略案を配布して普段通りの授業を行い、そこから学び合うスタイルとした。
- ・生徒の発言や行動のうち注目したものを付箋に書いてもらい、主・対・深のどれと関連しているかをYチャートで明らかにしていくようにした。(写真1)
- ・先生方には「振り返りシート」を配布した。協議後に気づきや学びを記録してもらい、その後の指導に生かせるよう工夫した。(写真2)



(写真1)



(写真2)

4 成果と課題

- ・指導案作成の簡略化を図り、労力を軽減することで、授業の質を重視することができた。
- ・生徒の学ぶ姿を具体的に語ることで、どのような状態が深い学びか学年団で考えることができた。
- ・生徒の学びを中心に議論することで、先生方の授業に対する意識の転換が図れた。
- ・授業参観し、見取った様子を伝えるだけの場にならないような議論を深め方、先生方それぞれの授業改善への生かし方が課題といえる。